

2017 i.school WORKSHOP

i.school で“人間中心イノベーション”を学ぶ

i.school は、2009 年にスタートした東京大学　知の構造化センターが主宰するイノベーション創出のプロセスやデザインを学ぶプロジェクトです。東京大学のほか、海外の有名大学からも学生が多数参加するなど、イノベーション教育分野で高い人気を誇っています。
このたび、i.school が蓄積してきた活動成果を再編し、企業人向けのワークショップとして開催いたします。
本プログラムは、i.school の掲げる「人間中心イノベーション」を生み出すために、多様なワークショップを経験することでイノベーション創出プロセスの設計の方法論を体得してもらうことを目的にしています。

＊人間中心イノベーション…人々の生活や価値観を深く洞察し、新製品やサービス、ビジネスモデル、社会システムなどを生み出していくことで、人々のライフサイクルや価値観の変化を誘導するもの。

開催日程　2017 年 6 月～ 12 月、全 12 日間
会場　東大本郷赤門前　＜ i.school スタジオ ＞
定員　30 名

対象　新しい価値創造や新規事業開発を期待されている方々（部門不問）
参加費　日本能率協会　法人会員　980,000 円（税抜）／ 1 名
会員外　1,100,000 円（税抜）／ 1 名

＊会期ごとの参加者交換可

申込み方法
こちらの URL からお申し込み下さい。　**http://jma-ischool.com**

主催：i.school，一般社団法人日本能率協会
問い合わせ：一般社団法人日本能率協会 経営人材センター i.school 事務局
電話　03-3434-1955
E メール　hm@jma.or.jp

ワークショップのゴール

・創造性を求められるな課題を与えられた時、最適なプロセスを設計できるようになる。
・イノベーションを生み出すことが出来るという自信を持つ。
・社会的課題の解決をテーマにすることで思いを醸成し、モチベーションを高める。

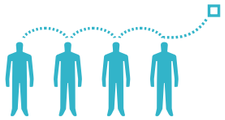


2017 i school WORKSHOP PROGRAM

THEME 1　WORKSHOP イントロダクション、集合知サービス

アマゾンのおすすめ商品のような既存の集合知サービスの事例を分析し、
アナロジー思考に基いて、新しい集合知サービスを発想します。
ワークショップのプロセスの重要性や新しさを生み出すメカニズムの
具体例としてのアナロジー思考を理解します。

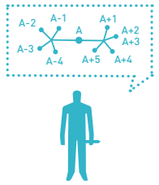
このセッションで学べること
・イノベーションワークショップに関する講義
・ワークショップのデザイン



THEME 2　ビジネスチャンスを生む余暇時間のイノベーション

余暇時間を特殊な使い方をしている事例を探し、その事例を分析することにより、
余暇時間の過ごし方を整理します。その分析結果に基づき、新しい余暇時間の過ごし方を発想します。
エクストリームユーザー・リサーチとそこから本質的な知見を抽出する手法を習得します。
電子付箋紙ツール、APISNOTEを利用してワークショップを行います。

このセッションで学べること
・APISNOTE の使い方に関する講義・演習
・余暇時間を特殊な使い方の事例分析
・フィールド調査結果の分析手法



THEME 3　ストーリーが埋め込まれた商品のイノベーション：フィールドワーク

ストーリーが埋め込まれた商品・サービスの事例分析を行い、価値創造のメカニズムを明らかにします。
次に、チームごとにベースとする地域を選び、フィールドワークによって魅力的なストーリーを発見します。
既存事例の分析結果に基いて発見したストーリーが埋め込まれた商品・サービスを発想します。

このセッションで学べること
・ストーリーが埋め込まれた商品・サービスに関する講義、事例分析
・フィールド調査の候補地の選択と調査計画の策定
・フィールド調査結果の共有と分析
・埋め込むべきストーリーの選定
・ストーリーが埋め込まれた商品・サービスの発想



FACILITATER



堀井 秀之

i.school エグゼクティブ・ディレクター。東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授。
1980 年東京大学工学部土木工学科卒業、ノースウェスタン大学大学院修士課程・博士課程修了。
専門は社会技術論、国際プロジェクト論、イノベーション教育論。
i.school エグゼクティブ・ディレクターとして、i.school 運営を統括する。
東京大学知の構造化センターではセンター長として、分散する知の構造化と価値化をテーマに研究開発を推進。
著書に「問題解決のための『社会技術』」(中公新書)、「社会技術論：問題解決のデザイン」(東京大学出版会) など。

THEME 4　幸せな高齢者を増やすサービス

高齢化社会にはネガティブな話が多いが、社会的課題はイノベーションの機会と捉え、
幸せな高齢者を増やすサービスを提案します。幸せな高齢者の事例を分析し、
その結果からアナロジー思考に基いて、新しいサービスを発想します。
合意形成のプロセスに重点を置き、イノベーションワークショップ後半の試行錯誤によるアイディアの発想、
精緻化のプロセスのコントロールを体得します。

このセッションで学べること
・幸せな高齢者の事例分析、類型化
・集合知サービスの事例分析
・幸せな高齢者を増やすサービスの発想
・試行錯誤の戦略策定



THEME 5　ワークショップデザインのワークショップ

イノベーションワークショップのテーマと創造性を誘発するワークショッププロセスの設計方法を習得します。
イノベーションワークショップの成功は事前の準備に大きく依存しています。
特にテーマの設定と、創造性を誘発するワークショッププロセスの設計方法が重要です。
理論的背景は存在しますが、かなり設計者の経験値に依存しています。
それは逆に、設計者の個性や創造性が発揮されることを意味します。
このテーマでは、そのような経験知を効率的に体得して頂くことを目指します。

このセッションで学べること
・テーマ設定・プロセス設計に関する講義
・テーマ・プロセスの選定



THEME 6　試行錯誤のファシリテーション

テーマ 4 のワークショップにおける後半の試行錯誤部分をファシリテーター側の視点で分析し、課題を抽出します。
ファシリテーターとしてどのようにコメントや指示を出し、どのように試行錯誤をコントロールすればよいかを学びます。

このセッションで学べること
・ワークショッププロセスの分析
・プロセス・アウトプットの比較分析



THEME 7　ビジネスモデルのイノベーション

イノベーション研修プログラムの集大成として、ビジネスモデルのイノベーションをテーマにワークショップを行います。
ビジネスモデルのイノベーション事例の分析を行い、アナロジー思考から新しいビジネスモデルを提案します。

このセッションで学べること
・ビジネスモデルイノベーションに関する講義
・既存のビジネスモデルイノベーション事例の分析
・ターゲット領域の検討・選択
・ビジネスモデルの発想・再発想



SCHEDULE

THEME 1	THEME 2	THEME 3	THEME 4	THEME 5	THEME 6	THEME 7
2017/6/9	6/23	7/7, 7/21	9/1, 9/15	9/29, 10/13	10/27, 11/10	11/24, 12/8

時間：いずれも金曜 10 時〜 17 時